

2022年6月22日

報道関係者各位

秋田 RPA 協会では第3回秋田県内の企業におけるICT導入実態（DX）
と景況感に関する調査を開始した。

一般社団法人 秋田 RPA 協会（本部秋田市、会長：齋藤和美）では、2022年6月に第3回秋田県内の企業の景況感とテレワークに関する調査を開始した。Webと郵送で約300件の有効回答票を目標。協会では定期的に年数回の県内の景気判断のための景況感と最新ITの活用実態に関する調査を実施して、秋田 RPA 協会会員や秋田県の企業へ結果をフィードバックし、ITの有効活用、推進する活動を行う。同様にセミナーや講演、教育支援などを通じてRPAなどの最新ITの告知、普及を図っていく。

「以下、今回の調査の詳細。」

第3回秋田県内の企業におけるICT導入実態（DX）と景況感に関する調査ご協力の御願い

拝啓 各位におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

当協会は協会発足以来、秋田県内の民間企業のICT、デジタル化の実態を把握することを目的に、新型コロナウイルスの影響下での企業の景況感とICTやテレワークに関しての実態についてのアンケート調査を実施しております。昨年2021年はご協力いただき、大変ありがとうございました。その結果につきましては、ご協力の皆様に調査結果のダイジェストとしてお送りいたしました。

<https://rpa-akita.jp/notice/akita-telework-news2021/>

さて、当協会としては、年1回の定点調査として、秋田県内の企業様の景況感とICTの導入実態に関しての調査を行っており、今回は3回目の調査実施のご協力のお願いとなります。

今回の調査におきまして、特にDX（デジタルトランスフォーメーション）に関する取り組みについて、昨年同様にお聞き出ればと考えております。

アンケート集計・分析結果は、個別の情報が特定されない統計情報として、回答者様への送付、Web・地元メディアでの公開を予定しております。

どうかご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

調査概要

調査目的：第3回秋田県内の企業におけるICT導入実態（DX）と景況感に関する調査

調査対象：県内に本社を有する民間企業の経営者・経営層、または情報システム担当者

調査サンプルの抽出方法：集落抽出法

調査方法：原則WEBでの回答（郵送回答も一部併用）

調査期間：2022年6月22日～7月1日（郵送は8日）

調査結果の利用方法：個人を特定されない統計情報として、Web、地元メディアでの公開

調査結果の分析方法：企業規模、業種、地域ごとに集計・分析

当アンケートの回答時間の目安は約5分です。

「秋田RPA協会」で検索、またはアドレスバーに下記URLを入力してください。

<https://rpa-akita.jp/notice/akita-telework-news2022/>

「調査連絡先」

〒010-0865 秋田県秋田市手形新栄町7番47号

akita.rpa@gmail.com Fax:018-838-7113

一般社団法人 秋田RPA協会

<https://rpa-akita.jp/>

事務局 調査担当

主催：一般社団法人 秋田RPA協会

後援：秋田商工会議所、湯沢商工会議所

秋田大学産学連携推進機構

協力：エイデイケイ富士システム(株)

秋田ワーケーション推進協会